

全国統一小学生テスト

対策授業

こくご
1年
ごせい

★ものがたりをよもう！

★「いつ(とき)」をよみとろう。

あさ・きよう・きよねん・なつ・五年前ねんまえ など

(れい) きのうの 夕方ゆうがた おばあさんに でんわを した。

★「どこで(ばしょ)」をよみとろう。

学校がっこうで・うみで・にわで・アメリカで・へやで など

(れい) ひるま、ぼくは こうえんの 木きの 下したで 本ほんを よんだ。

★「だれが(登場人物)」をよみとろう。

わたしが・おとうさんは・こじまくんが など

(れい) くるさわくんが ぼくの うでを つねった。

★「どうした(できごと)」をよみとろう。

はしった・えんそくに いった・ないた など

(れい) おいしやさんが プスツと ちゅうしゃを した。

4つのポイント
ちゅうもくしながら、
よんでいこうね。





文章もんだいに チャレンジ!

1ねん1くみ1ばんワル

【ここまでの おはなし】

「ねん1くみで 1ばん 「ワル」と いわれて いる くらさわくん。すべりだいを 自転車じてんしゃで おりたり する はちやめちやな くらさわくんに、「ぼく」は ふりまわされっぱなしです。

アキアきようは ちゅうしゃの 日ひだった。

ツベルクリンと いう ちゅうしゃだった。

先生せんせいが からだの えほんを よんで くれて、ちゅうしゃの たいせつさを べんきょうしたんだけど、ぼくは やっぱり こわかった。

しょうどくのおいも いやだった。

だんだん ぼくの ばんが、ちかづいて きた。

なくて いる 子こなんて、だれも いない。

「へいき へいき。」

と、こじまくんなんか にこにこしてる。

「ぼく、もう いっぺん やろうかな。」

なんて、みんなを わらわせて いた。

だけど、ぼくは やっぱり こわかった。

あと ひとり!

かんごしさんが さつさと、ぼくの うでを しょうどくした。

しょうどくのおいが、っーんと はなに きた。

ぼくは がまんできなくて、イまだ ちゅうしゃを して いないのに、イないて しまった。

「ふん、よわむし!」

と、くらさわくんが ぼくの うでを つねった。

「いたーい!」

と、ぼくが べそべそ ないてる うちに、おいしゃさんが プスツと ちゅうしゃを した。

あつと いう まだった。

くらさわくんに つねられたより、いたくなかった。 だけど ぼくは、べそべそ なきつづけた。

25

20

15

10

5

30

「あかちゃんみたい。」
と、女の子たちが くすくす わらった。

それで ぼくは くやしくて、ウもつと ないた。
「なくな、ばか。かっこわるい。」

と、くろさわくんが いばった。
すると、先生が、ぼくの あたまを だきかかえて、
「なくても いいのよ。なきたい ときに なく 子が、いい子なのよ。」
と いった。そして、ぼくの べちよべちよの かおを、ハンカチで
ふいて くれた。

35

ぼくは びっくりした。
みんなも びっくりして いた。

「ほんど？ がまんしなくて いいの？」
と、くろさわくんが きいた。

「いいのよ。」

と、先生は にこにこ わらってた。

「そうか、よし。」

と、くろさわくんは けんかするみたいに、うでを まくりあげて、お
いしやさんに つきだした。

「おお 元氣そうな 子だ。」

おいしやさんが、プスツと ちゅうしやを した。

45

とたんに くろさわくんは、

「うわーん！」

と、すごい こえで ないた。

(くろさわくんが ないた！)

ぼくら びっくりして、それで エその あと、だれも なかなかつた。

「へへへ うそなき。」

なんて、あとで くろさわくん 言ってたけど、ぼくら、ちゃんと、く
ろさわくんの なみだ、みちやったもんね。

(後藤竜二「ーねんーくみーばんワル」より)

50

※おはなしをよんで、もんだいにこたえましょう。こたえはかいとうのようにかきましよう。

(1) —ア「きょう」とありますが、きょうはなにをする日ひですか。□
にあてはまることばを文章ぶんしょう中からさがして、そのままかきましよう。

• をする日ひ

(2) —イ「まだちゅうしゃをしていないのに、ないてしまった」とありますが、これについて、①・②のもんだいにこたえましよう。

① ぼくがないてしまったのはなぜですか。一つえらんで、()に○をつけましよう。

() かんごしさんにつかまれたうでがいたくて、がまんできなかつたから。

() しょうどくのおいがくさくて、がまんできなかつたから。

() いよいよじぶんのばんになり、ちゅうしゃがこわくてがまんできなかつたから。

② ぼくがないたのを見て、くろさわくんはどうしましたか。文章ぶんしょう中のことばをつかってかきましよう。

(3) — ウ「もっとないた」とありますが、これについて、①・②のもんだいにこたえましょう。

① ぼくが ないたのは なぜですか。一つ えらんで、() に ○ をつけましょう。

() くろさわくんに つねられたのが いたかったから。

() おんな女の子たちに 「あかちゃんみたい」と わらわれて、くやしかったから。

() おいしやさんの うった ちゅうしやが いたかったから。

② ぼくが ひどく ないたことが わかる ことが あります。□ に あてはまる ことばを 文章ぶんしょう中から さがして、そのまま かきましましょう。

・  の か お

(4) — エ「その あと、だれも なかなか った」と ありますが、それは どうして だ と おもいますか。かんがえて かきましましょう。



④

ボートは	ボートを
★	★
☆	☆
こぐ。	うかぶ。

③

テレビに	テレビを
★	★
☆	☆
うつる。	つける。

②

はが	はを
★	★
☆	☆
みがく。	ぬける。

①

学校を	学校へ
★	★
☆	☆
やすむ。	いく。

どんなふうにつながる？

正しい文ただぶんになるように、★と☆をせんでむすびましょう。こたえは
かいたようしにかきましよう。

🌸 ことばのもんだいにチャレンジ！①

